

平成27年度継続課題に係る継続評価書

研究機関 : (株)エヌ・ティ・ティ・データ、(株)エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所、アルプス電気(株)

研究開発課題 : スマートなインフラ維持管理に向けたICT基盤の確立

研究開発期間 : 平成26年度 ～ 平成28年度

代表研究責任者 : 水野 大

■ 総合評価 : 適

(評価点 18点／ 25点中)

(総論)

平成27年度以降も継続に値する内容である。また、研究開発成果の他分野への展開も期待する。

(コメント)

- 平成27年度以降も継続に値する内容である。現場のニーズ、課題を捉えて実施してほしい。
- シミュレーションと実測の比較を行うなど、実測結果のフィードバックが重要である。
- 全体的に妥当に進んでいる。必須ではないが、開発されるLSIはインフラ管理以外の用途にも使えるとすばらしい。

(1) 当該年度における研究開発の目標達成(見込み)状況及びアウトカム
目標の達成に向けた取組みの実施状況

(5～1の5段階評価) : 評価4(評価点)

(総論)

実証実験において目標以上のものが達成されるなど、研究開発目標は達成又は達成見込みである。また、新たな課題についても適切に対処している。

(コメント)

- 着実に目標に向かっており、目標に関しては達成あるいは達成見込みである。
- 実証実験で目標以上のものが達成されたと判断する。
- 時刻同期等で新たな課題も見えはじめたが、それらに対しても適切に対処している。
- エネルギーハーベスティングに関する取組も考えており意欲的である。

(2) 当該年度における研究資金使用状況

(5～1の5段階評価) : 評価3(評価点)

(総論)

特に問題はない。

(コメント)

- 特に問題なく、総じてクリアである。

(3) 研究開発実施計画及びアウトカム目標の達成に向けた取組み

(5～1の5段階評価) : 評価4(評価点)

(総論)

実証実験で得られたデータを今後の実施計画に反映させており、適切に対処している。

(コメント)

- 実証実験で得られたデータに基づいて実施計画を対応させている。
- 広範囲型及び局所集中型の課題ともに具体的に組み組んでおり、本年度の課題に適切に対処している。
- 消費電力については、温度特性を確認する必要がある。

(4) 予算計画

(5～1の5段階評価) : 評価3(評価点)

(総論)

特に問題はない。

(コメント)

- 特に問題なし。

(5) 実施体制

(5～1の5段階評価) : 評価4(評価点)

(総論)

各社の連携は十分に図られており、体制に特に問題はないが、橋りょうの専門家をアドバイザーとして加えるとよいと考えられる。

(コメント)

- 各社の連携は十分図られており、体制は特に問題ないと判断できる。
- アドバイザーとして橋りょうの専門家を入れるとよい。